

第15回文法研究ワークショップ

言葉遊びと音韻論 (1)

開催のお知らせ・募集要項

「文法研究ワークショップ」は、記述言語学を志す学生や研究者が最新の研究成果や調査データを紹介しあうことにより、学生・研究者の交流や、情報共有を行なうことを目的としたワークショップです。

今回のワークショップでは「言葉遊び」を取り扱います。言葉遊びは世界の言語に広く見られるとともに、語の一部を規則的な音韻操作によって置き換えるような言葉遊びは音韻論に示唆を与えるテーマとして知られています。本ワークショップでは、若手研究者が系統と地域の異なる多様な言語の言葉遊びと関連現象について報告するとともに、これら音韻現象が各言語の音韻論にどのような示唆を与えるかを議論します。

記

1. 開催日時：2019年9月24日（火）14:00～17:30
2. 開催場所：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA研）
マルチメディア会議室（3階304室）
3. 発表：倉部慶太（AA研）
「趣旨説明」
倉部慶太（AA研）
「ジンポー語のルドリングと音節構造」
植田尚樹（大阪大学・日本学術振興会）
「モンゴル語のことわざにおけるリズム」
落合いずみ（神戸市外国語大学）
「アタヤル（Ata-yal）語群における迷彩的接辞の添加」
4. 参加資格：上記のテーマに関心のある研究者・学生（大学院生以上を原則とします）
5. 定員：20名程度
6. 参加申込方法：下記URLにアクセスして、専用フォームからお申し込みください。折り返し自動返信メールが届きますので、ご確認ください。なお、右記QRコードからでも同じページにアクセスできます。

<https://lingdy.aa-ken.jp/activities/training-ws/190924-flws-gram>
7. 申込締切：2019年9月23日（月）正午（ただし定員に達し次第締め切りますので、お早めにお申し込みください）
8. 問い合わせ先：「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築（LingDy3）」事務局 info-lingdy[at]aacore.net（[at]を@に変えて送信ください）
9. その他：ワークショップは日本語でおこないます。
参加は無料です。

※ご不明な点がございましたら、上記「8. 問い合わせ先」までご連絡ください。

※過去の文法研究ワークショップにつきましては、

<http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/training/fieldling-ws/grammar-wr-ws> をご覧ください。

主催：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所基幹研究「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築（LingDy3）」

以上